

練馬区における外環の地上部街路 あり方(複数案)に関する オープンハウスの記録

東京都は、東京外かく環状道路の地上部街路（外環の2）の必要性やあり方などについて、広く意見を聴きながら検討を進め、都市計画に関する都の方針を取りまとめることとしています。

この一環として、練馬区における外環の地上部街路のあり方（複数案）を作成し、地域の皆さんがこの地上部街路に期待する機能などについてご意見を聴くため、平成26年1月に「広く意見を聴く会」を3回、2月に「オープンハウス」を9回開催しました。

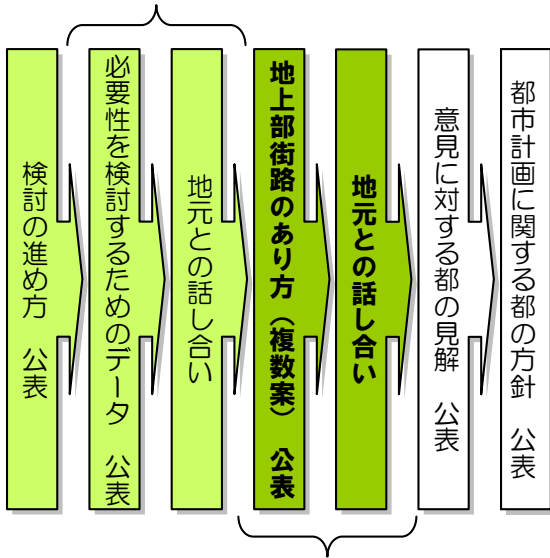
このリーフレットは、「オープンハウス」でいただいたご意見の概要です。

検討のプロセス

オープンハウスの概要

話し合いの会（平成22年6月～平成23年8月）

広く意見を聴く会（平成23年11月）



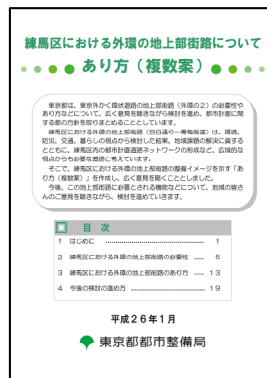
広く意見を聴く会（平成26年1月）

オープンハウス（平成26年2月）

開催日	場所	来場者
平成26年2月10、21、23日	石神井台 地域集会所	45名
平成26年2月12、18、22日	石神井台みどり 地域集会所	83名
平成26年2月13、15、20日	東大泉中央 地域集会所	23名

いただいたご意見カード：90通（平成26年2月末現在）

■配布したパンフレット ■オープンハウスの様子



お問い合わせ先

東京都都市整備局 都市基盤部 街路計画課 外かく環状道路係

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎22階南側 電話：03-5388-3279

ホームページ：http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/（関連資料の公表先）

オープンハウスでいただいたご意見の概要

地上部街路の必要性についてのご意見

地域の現状

- いつも渋滞にはまっている。南北道路の重要性を認識
- 上石神井駅周辺はバス、車、自転車、歩行者が入り乱れていて危険
- 道路整備が遅れており、生活道路に通過交通が流入し危険
- 道路整備が遅れているとは思わない
- 石神井公園のほか、隣接地に公園が整備された。緑は十分

他の施策を優先すべき

- 既存道路を拡幅すべき
- 防災のためには、建築の規制や助成で対応すべき
- 福祉に税金を使ってほしい
- 自動車の利用が少なくなるような対策を講ずるべき
- 上石神井駅周辺だけ再開発すれば十分

地上部街路の都市計画

- 50～100年後の先見の明となるような道路にしてほしい
- 50年前の計画で広い車道をつくらうとするのは時代錯誤
- 数十年前の計画をそのまま実行するのではなく、時代に合った案が必要
- 道路を網の目に整備する意味があるのか
- 住宅の立ち退きが無理だから外環本線を地下化したのに、地上部街路の整備は逆行する

地上部街路は必要、不要

- 災害はいつ来るかわからない。早期着工を望む
- 上石神井駅周辺など、地域の発展のためにも必要
- 高速道路のICを利用しやすくなるので必要
- 道路は必要だが、幅員40mの道路が必要なのか疑問
- 人口が減少し、車離れが進んでいるため不要
- 現在の環境が一番住みやすい状態なので、地上部街路を廃止してもらいたい

地上部街路の代替機能

- 代替案の事業費を算出すべき
- 代替ルートの断面を必要最小限にすべき
- 「代替機能を確保して都市計画を廃止」案がない理由が不明
- 代替ルートのように、既存道路を拡幅するのは現実的には難しいことが分かった

地上部街路の整備による影響が心配

- 道路整備により、通過交通が増える
- 交通事故、大気汚染、騒音・振動が心配
- 石神井公園の脇を通るため、環境への影響が心配
- 子供の通学路を横切るので心配
- 地域が分断され、良好なコミュニティが崩壊する

地上部街路に期待する機能についてのご意見

- 将来のためにも、幅員40m案がよい
- 幅員40m案では、高齢者が渡りきれない
- 理想は幅員40m案だが、現実的には幅員22m案
- 事業費、維持管理を考えると、幅員22m案がよい
- 歩行者と自転車は分けた方がいい。幅員22m案がよい
- 歩行者と自転車は色で分ければ十分。幅員18m案でよい
- 幅員18m案から植樹帯を除いた15m程度で十分
- 上石神井駅の踏切解消と合わせて、早く整備してほしい
- 救急車、消防車、幼稚園バス、デイサービスの車のために、車道は広い方がよい
- 車道はいらぬ。グリーンベルトや自転車道のみでよい

- 自転車道があると、車を運転する人も安心
- 自転車レーンは車が駐車するので、自転車道がよい
- スムーズに走れるよう、一方通行ではない自転車道がよい
- 相互通行の自転車道は危ないので、一方通行がよい
- ベビーカーが安全に通行できる歩道にしてほしい
- 地域の憩いの場となるよう、緑地帯を整備してほしい
- 中央分離帯の緑地帯は、利用しにくい
- 沿道環境に配慮し、緑地帯は歩道側に設けるべき
- 街路樹は多様性に富んだものがいい
- 人工的な街路樹の緑では、緑のネットワークとなり得ない
- シンプルに維持管理しやすい道路がよい

検討の進め方についてのご意見

オープンハウスの運営方法

- 今回のオープンハウスで、計画内容がよく理解できた
- 近くで複数回、情報提供の場があり、行きやすくよかった
- 広く意見を聴く会では、素朴な質問がしづらい雰囲気
- 広く意見を聴くといいながら、住民の意見を聴かず一方的
- オープンハウスは実績作りのポーズでしかない

検討の進め方

- 権利者の生活再建のためにも、早急に結論を出すべき
- 今後の進め方や、スケジュールが知りたい
- 用地や建物の補償内容が知りたい
- 計画線内の住民に対して、丁寧に対応すべき

- 練馬区間のみ先行させる理由を明確にすべき
- 他の地域の話し合いが終わるまで、具体案を出すべきではない
- 練馬区の取組方針を考慮して、都は方針を検討すべき
- 外環本線が完成し、その効果を見極めてから地上部街路の整備を検討すべき
- どのように意見が反映されるのか
- 計画ありきで意見を募っていることを強く感じる
- 各案の費用対効果を知りたい
- 次世代のことを考えて検討すべき
- 反対派を含む、第三者、学識経験者を入れて検討してほしい